

# 令和3年度事業計画

福岡の景気は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動は持ち直しの動きがみられるものの、個人消費の持ち直しに向けたテンポは緩やかで、雇用情勢についても動きは弱く、また企業収益も落ち込むなど厳しい状況にある。

当協会は、福岡の経済や雇用を支える中小企業の振興発展と勤労者福祉の一層の向上を目指し、会員の拡大、事業の充実・推進等に努めてきたが、近年、廃業・倒産、経費節減等の理由により会員数は微減傾向にあるなか、令和2年度から加入推進体制を強化し会員拡大に取り組んできた。

しかしながら、一定の効果はあったものの、コロナ禍の影響は大きく、令和2年度は会員数の大幅な減となる見込みである。また、事業の面でも、外出の自粛等により、利用者数はかなりの減となる見込みである。

令和3年度は、コロナ禍を踏まえた新しい福利厚生サービスの提供に努めるとともに会員事業所の利便性の向上に向けたシステムを導入する等、会員サービスの充実を図る。併せて、勤務形態の多様化や生活様式の変化等を見据えながら、長期的な展望のもと、会員の加入促進と協会の財政基盤の安定・強化に努め、創意・工夫により地域の中小企業の支援と勤労者福祉の向上に取り組んでいく。

## 1 運営方針

令和3年度は下記の運営方針の下事業に取り組んでいく。

なお、令和3年度末の目標会員数は、現下の状況を勘案し31,000人とし、会員規模の拡大を最優先課題として取り組んでいく。

- (1) 会員規模の拡大
- (2) 会員のニーズに応える多様な事業展開
- (3) 効率的な業務の遂行

## 2 事業計画

### (1) 余暇事業（公益目的事業）

会員の親睦交流、余暇活動、健康増進及び自己啓発の推進を図り、レクリエーション企画やグルメ企画を実施するとともに、保養施設の借上、施設利用の補助及び割引等多様な事業を展開し、会員の満足度向上を図る。

- ① 会員に人気の高い「ホテルグルメプラン」、「日帰り観光プラン」及び「特別

宿泊プラン」並びに「テーマパーク無料招待事業」を引き続き実施する。

- ② 保養施設の借上げについて令和3年度は新たに3施設を加え7施設で行う。
- ③ 九州各地の宿泊施設、テーマパーク、レジャー・スポーツ施設、商業施設等との割引契約について対象施設を拡充し会員の利用を促進する。
- ④ 令和2年度より開始したローソンとの提携による各種チケットの特別割引や購入手数料の無料化等を引き続き実施する。
- ⑤ 福岡ソフトバンクホークス戦の無料観戦について、従来の外野席に加え新たに内野席（スターホークシート）を提供するとともに、アビスパ福岡戦についても指定席を拡充するなどサービスの充実を図る。また、ソフトバンクホークス2軍戦（タマホームスタジアム筑後）指定席の無料提供も引き続き実施する。

## （2）健康管理事業（公益目的事業）

労働安全衛生法により、事業主に対し従業員への受診を義務づけている定期健康診断の経費を助成するとともに、スポーツクラブの利用など会員の健康維持増進事業を引き続き実施する。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の一環として、インフルエンザ予防接種の助成について、令和3年度からの実施に向けて関係機関と協議を行い、協議が整い次第速やかに実施する。

## （3）研修事業（公益目的事業）

企業への経営支援の一環及び、会員の生涯学習、自己啓発を促進するため福岡商工会議所や福岡県中小企業家同友会並びに、会員企業をはじめとして各種団体と提携して、会員のライフスタイルや企業ニーズに合致する研修、セミナー等の受講助成を行う。

また、福岡地区職業訓練協会が実施するパソコン講習や各種資格試験対策講習の助成を引き続き実施する。

## （4）情報提供事業（公益目的事業）

FCFニュースやホームページによりの確で迅速な情報提供に努めるとともにLINEを活用することにより、リアルタイムな情報提供に努める。

併せて、令和2年度から導入した会員加入推進員による勧誘活動を通して本会の認知度を高めていく。

## （5）給付事業（収益事業等）

会員の慶弔時の給付として、成人、結婚、出産、小・中学校入学、義務教育修了、結婚記念祝等の祝金及び死亡弔慰金を支給するほか、傷病及び災害時における見舞金ならびに会員加入年数に応じた永年会員ほう賞記念品を支給する。

なお、記念品の一部について、より会員ニーズに合った選択が可能となるよう見直しを行う。

## (6) 加入促進事業（収益事業等）

令和3年度は、会員目標を31,000人とし下記の活動を展開していく。

### ①加入推進員による勧誘活動

令和2年度より大手企業の営業経験者を加入推進員として雇用しており、コロナ禍のなか一定の成果が上がっており、引き続き雇用し、会員数の拡大に鋭意取り組む。(令和2年度2月末加入実績：15社・96名)

### ②加入紹介キャンペーン

例年実施している加入紹介キャンペーンを、新年度も継続して実施する。

(内容)

・事業所を紹介した場合

1社当たり1,000円相当の「QUOカード」を紹介者に進呈。

・紹介された事業所が入会した場合に紹介者に進呈。

9名まで・・・・・・・・・・ 2,000円相当の「QUOカード」

10名～49名・・・・・・・・ 5,000円 //

50名～99名・・・・・・・・ 10,000円 //

100名以上・・・・・・・・ 50,000円 //

### ③職員による勧誘活動

過去に勧誘した事業所のうち加入見送りとなった事業所及び大口の退会事業所に、再度アプローチを行う。

### ④各種業界団体の囲い込み

各種業界団体等の事務局と密接な関係を構築し、団体傘下の企業等の加入促進につなげていく。

### ⑤会員事業所に対する紹介依頼及び脱退防止

既存の大口事業所を定期訪問し、ニーズを把握するとともに、関連企業や取引先企業の紹介依頼を行い、退会防止に努める。(紹介キャンペーン制度の活用)

### ⑥ホームページやFCFニュース等の活用

当協会のサービスのPRと知名度の向上を図る。

## (7) その他

会員の入退会手続、会員事業所の変更手続及び慶弔給付金の請求手続について、インターネットを利用した申請方式を導入し、会員事業所の利便性の向上を図る。

令和3年度 収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[ 200 ]	[ 1,000 ]	[ ▲ 800 ]
基本財産受取利息	200	1,000	▲ 800
② 特定資産運用益	[ 5,000 ]	[ 20,000 ]	[ ▲ 15,000 ]
特定資産受取利息	5,000	20,000	▲ 15,000
③ 受取会費	[ 223,200,000 ]	[ 237,600,000 ]	[ ▲ 14,400,000 ]
受取会費	223,200,000	237,600,000	▲ 14,400,000
④ 雑収益	[ 3,002,000 ]	[ 3,010,000 ]	[ ▲ 8,000 ]
受取利息	2,000	10,000	▲ 8,000
雑収益	3,000,000	3,000,000	0
経常収益計	226,207,200	240,631,000	▲ 14,423,800
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 186,585,000 ]	[ 191,548,000 ]	[ ▲ 4,963,000 ]
余暇事業費	( 27,408,000 )	( 30,358,000 )	( ▲ 2,950,000 )
スポーツ文化事業費	20,295,000	22,103,000	▲ 1,808,000
宿泊利用補助費	3,000,000	5,900,000	▲ 2,900,000
借上保養施設事業費	4,113,000	2,260,000	1,853,000
雑費	0	95,000	▲ 95,000
健康管理事業費	( 55,623,000 )	( 51,695,000 )	( 3,928,000 )
健康管理事業費	55,623,000	51,560,000	4,063,000
雑費	0	135,000	▲ 135,000
研修事業費	( 200,000 )	( 200,000 )	( 0 )
研修事業費	200,000	200,000	0
情報提供事業費	( 21,750,000 )	( 21,430,000 )	( 320,000 )
印刷製本費	18,200,000	17,850,000	350,000
通信運搬費	2,800,000	2,850,000	▲ 50,000
委託費	750,000	680,000	70,000
雑費	0	50,000	▲ 50,000
給付事業費	( 73,581,000 )	( 79,945,000 )	( ▲ 6,364,000 )
成人祝金	415,000	410,000	5,000
結婚祝金	11,230,000	11,780,000	▲ 550,000
出産祝金	8,930,000	9,390,000	▲ 460,000
入学祝金	16,620,000	17,310,000	▲ 690,000
義務教育終了祝金	3,710,000	3,865,000	▲ 155,000
結婚記念品	1,012,000	1,005,000	7,000
永年会員ほう賞記念品	18,360,000	22,341,000	▲ 3,981,000
傷病見舞金	3,360,000	3,640,000	▲ 280,000
災害見舞金	744,000	664,000	80,000
死亡弔慰金	9,200,000	9,320,000	▲ 120,000
雑費	0	220,000	▲ 220,000
加入促進事業費	( 8,023,000 )	( 7,920,000 )	( 103,000 )
給料手当	5,330,000	5,387,000	▲ 57,000
福利厚生費	500,000	340,000	160,000
会議費	30,000	30,000	0
旅費交通費	200,000	200,000	0
印刷製本費	50,000	50,000	0
通信運搬費	240,000	240,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
賃借料	823,000	823,000	0
燃料費	120,000	120,000	0
委託費	600,000	600,000	0
雑費	100,000	100,000	0

令和3年度 収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
② 管理費	[ 50,530,000 ]	[ 49,083,000 ]	[ 1,447,000 ]
人件費	( 37,850,000 )	( 37,658,000 )	( 192,000 )
役員報酬	740,000	740,000	0
給料手当	25,230,000	25,117,000	113,000
賞与	6,050,000	6,072,000	▲ 22,000
福利厚生費	5,830,000	5,729,000	101,000
経費	( 12,680,000 )	( 11,425,000 )	( 1,255,000 )
会議費	600,000	100,000	500,000
旅費交通費	250,000	250,000	0
通信運搬費	2,400,000	2,400,000	0
減価償却費	930,000	0	930,000
消耗品費	500,000	500,000	0
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	1,130,000	1,300,000	▲ 170,000
調査費	110,000	110,000	0
委託費(人材派遣費)	0	240,000	▲ 240,000
租税公課	120,000	95,000	25,000
雑費	6,440,000	6,230,000	210,000
經常費用計	237,115,000	240,631,000	▲ 3,516,000
当期經常増減額	▲ 10,907,800	0	▲ 10,907,800
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 10,907,800	0	▲ 10,907,800
一般正味財産期首残高	248,075,206	233,664,550	14,410,656
一般正味財産期末残高	237,167,406	233,664,550	3,502,856
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	247,167,406	243,664,550	3,502,856

令和3年度 公益財団法人福岡市中小企業従業員福祉協会資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はない。

2 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載してください。

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は 取得資金の使途
公1 他1 法人	会員管理及び給付申請システム整備	6,200,000円	自己資金

# 収支予算書の事業別区分経理の内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	収1	他1	他2	計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	200	0	0	0	0	0	200
基本財産受取利息	200					0	200
特定資産運用益	0	0	0	0	0	5,000	5,000
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	5,000	5,000
受取会費	143,517,600	0	72,198,503	1,397,311	73,595,814	6,086,586	223,200,000
受取会費	143,517,600		72,198,503	1,397,311	73,595,814	6,086,586	223,200,000
雑収益	0	3,000,000	0	0	3,000,000	2,000	3,002,000
受取利息					0	2,000	2,000
雑収益		3,000,000			3,000,000		3,000,000
経常収益計	143,517,800	3,000,000	72,198,503	1,397,311	76,595,814	6,093,586	226,207,200
(2) 経常費用					0		0
事業費	145,189,457	1,418,950	78,109,207	6,303,800	85,831,957		231,021,414
余暇事業費	27,408,000	0	0	0	0		27,408,000
スポーツ文化事業費	20,295,000				0		20,295,000
宿泊利用補助費	3,000,000				0		3,000,000
借上保養施設事業費	4,113,000						4,113,000
					0		0
健康管理事業費	55,623,000	0	0	0	0		55,623,000
健康管理事業費	55,623,000				0		55,623,000
					0		0
研修事業費	200,000	0	0	0	0		200,000
研修事業費	200,000				0		200,000
情報提供事業費	21,750,000	0	0	0	0		21,750,000
印刷製本費	18,200,000				0		18,200,000
通信運搬費	2,800,000				0		2,800,000
委託費	750,000				0		750,000
							0
給付事業費	0	0	73,581,000	0	73,581,000		73,581,000
成人祝金			415,000		415,000		415,000
結婚祝金			11,230,000		11,230,000		11,230,000
出産祝金			8,930,000		8,930,000		8,930,000
入学祝金			16,620,000		16,620,000		16,620,000
義務教育終了祝金			3,710,000		3,710,000		3,710,000
結婚記念品			1,012,000		1,012,000		1,012,000
永年会員ほう賞記念品			18,360,000		18,360,000		18,360,000
傷病見舞金			3,360,000		3,360,000		3,360,000
災害見舞金			744,000		744,000		744,000
死亡弔慰金			9,200,000		9,200,000		9,200,000
					0		0
加入促進事業費	0	0	0	4,793,000	4,793,000		4,793,000
給料手当				2,100,000	2,100,000		2,100,000
福利厚生費				500,000	500,000		500,000
会議費				30,000	30,000		30,000
旅費交通費				200,000	200,000		200,000
印刷製本費				50,000	50,000		50,000
通信運搬費				240,000	240,000		240,000
消耗品費				30,000	30,000		30,000
賃借料				823,000	823,000		823,000
燃料費				120,000	120,000		120,000
委託費				600,000	600,000		600,000
雑費				100,000	100,000		100,000
人件費	30,860,700	1,157,950	3,905,500	1,510,800	6,574,250		37,434,950
役員報酬	384,000	0	0	0	0		384,000
給料手当	21,458,200	803,350	2,524,000	1,292,000	4,619,350		26,077,550
退職給付費用	0	0	0	0	0		0
賞与	4,609,600	188,300	826,000	0	1,014,300		5,623,900
福利厚生費	4,408,900	166,300	555,500	218,800	940,600		5,349,500
経費	9,347,757	261,000	622,707	0	883,707		10,231,464
会議費	270,857	12,000	60,000	0	72,000		342,857
旅費交通費	200,000	0	0	0	0		200,000
通信運搬費	1,920,000	48,000	120,000	0	168,000		2,088,000
減価償却費	790,500	0	93,000	0	93,000		883,500
消耗品費	400,000	10,000	25,385	0	35,385		435,385
印刷製本費	160,000	4,000	10,222	0	14,222		174,222
賃借料	904,000	22,600	56,500	0	79,100		983,100
調査費	110,000	0	0	0	0		110,000
租税公課	20,000	100,000	0	0	100,000		120,000
雑費	4,572,400	64,400	257,600	0	322,000		4,894,400

# 収支予算書の事業別区分経理の内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	収1	他1	他2	計		
管理費						6,093,586	6,093,586
人件費						3,645,050	3,645,050
役員報酬						356,000	356,000
給料手当						2,382,450	2,382,450
退職給付費用						0	0
賞与						426,100	426,100
福利厚生費						480,500	480,500
経費						2,448,536	2,448,536
会議費						257,143	257,143
旅費交通費						50,000	50,000
通信運搬費						312,000	312,000
減価償却費						46,500	46,500
消耗品費						64,615	64,615
印刷製本費						25,778	25,778
賃借料						146,900	146,900
調査費						0	0
租税公課						0	0
雑費						1,545,600	1,545,600
経常費用計	145,189,457	1,418,950	78,109,207	6,303,800	85,831,957	6,093,586	237,115,000
当期経常増減額	△ 1,671,657	1,581,050	△ 5,910,704	△ 4,906,489	△ 9,236,143	0	△ 10,907,800
2. 経常外増減の部							0
(1) 経常外収益							0
経常外収益計							0
(2) 経常外費用							0
経常外費用計							0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,581,050	△ 1,581,050	0	0	△ 1,581,050	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 90,607	0	△ 5,910,704	△ 4,906,489	△ 10,817,193	0	△ 10,907,800
一般正味財産期首残高	7,023,547		57,346,084	11,131,482	68,477,566	172,574,093	248,075,206
一般正味財産期末残高	6,932,940	0	51,435,380	6,224,993	57,660,373	172,574,093	237,167,406
II 指定正味財産増減の部							0
当期指定正味財産増減額							0
指定正味財産期首残高	10,000,000						10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	0	0	0	0		10,000,000
III 正味財産期末残高	16,932,940	0	51,435,380	6,224,993	57,660,373	172,574,093	247,167,406